

2007年5月15日

## 郵政民営化委員会プレゼンテーション

### はじめに

この度は、欧州企業を代表して欧州ビジネス協会としての見解を示す機会を与えて下さったことを感謝致します。改めてこのような場をいただき、光栄に存じております。

### 概要

弊協会は、民営化のプロセスおよび簡保をその他一般の保険マーケットと並列に扱おうという日本政府の意図を支持する考えです。同時に、潤滑な移行と、マーケットにおける公平な競争条件の構築が成功の鍵となるとの見解です。

### 肯定的な要素

日本郵政の事業計画には、特に以下の点において多くの肯定的な要素が認められます。

- コンプライアンスおよびリスク管理機能を向上させる意図
- 年金および法人生保分野に事業を拡大するうえで第三者機関を活用していくという意図



## 懸念

一方で、幾つかの懸念事項もあります。

- 再保険契約  
簡保の権利義務が不明確。該当団体間で会計を明確に分ける必要があり、アーム  
レングス・ルールに則った契約締結であるべきです。
- リスクおよびコンプライアンス機能  
当該機能が、民間セクター業務にあたるに十分な機能を有しているかが不確かで  
す。民営化に先立ち、当局が当該機能の監査に積極的な役割を果たされますこと  
を、弊 EBC として、再度推奨させていただきます。コンプライアンスおよびリスク管  
理事項が商品拡大以前に対応済みであることが重要です。
- 個人情報の利用  
郵貯および簡保が郵便貯金口座や簡易保険既契約の顧客情報を無料もしくは市  
場価格と関係無く取得していることに懸念があります。

この他全般的な要請として、実施計画において、さらに詳細を拝見させてい  
ただきたく存じます。

## 質問

進行中の過程に関して見解を提示する機会をいただき、ありがとうございます。こ  
の場をお借りして、二つの事項についてご説明をいただきたくお願い申し上げます。

1. 進行中の過程における透明性に関して、日本郵政の事業拡大についての申請  
を承認する意思決定手続きがどのように行われているのかをご説明下さい。
2. 弊協会と致しましては、当局において日本郵政との間で民営化後の監督につ  
いての予備討論が行われているとの理解しております。事業拡大前に、当局に公式な  
監査を依頼することについてのお考えをお聞かせ下さい。この点が、「公正な競争  
条件」に関する問題を解く手助けになるかもしれません。